



学院一貫教育	<p>4つの教育要素の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青山学院の「キリスト教教育」「国際教育」「先端科学教育」「想像&創造教育」の4要素について、定義が明文化(共通言語化)され、学院内において共通理解となっている。 ● 4要素のうち、設置学校間で共通する方法(人権教育・平和共生教育・STEAM教育等)があるものについては、それが明確となり、設置学校間で連携して取り組まれている。 ● 学院の内外において、これら4要素が青山学院の教育の特長として認知されている。 	<p>系属校との共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 系属校と青山学院の理念と目指す人物像が共有されている。 ● 系属校と4要素の共通理解と実践への参画、協働を可能にする取組がなされている。 				
教育・研究システム	<p>4つの教育要素の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「キリスト教教育」「国際教育」「先端科学教育」「想像&創造教育」の4要素すべてについて、学院共通の定義のもとに、各設置学校において成長段階に応じた教育が提供されている。 ● 「想像&創造教育」については、イメージネーション(想像力)とクリエイティビティ(創造力)を伸ばしイノベーション(改革)を起こす、他にはないユニークな教育プログラムとして学院内外から注目されている。 	<p>教育手法と学ぶ人の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対面による教育と遠隔(バーチャル含む)による教育の最適なバランスが保たれ、ライフスタイルや学習目的に応じた教育手法が取り入れられている。 ● その教育手法が広く社会に認知され、属性にとらわれず多様な層から学ぶ人を受け入れている。 	<p>創造を促す教育の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 個別最適な学習と協働学習の最適なバランスが保たれ、個人の創造のみならず、集団的な創造を促す教育がなされている。 ● 個人を尊重し、豊かな人格の形成に資する評価、社会に受け入れられる評価がなされている。 	<p>地球市民の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海外との交流プログラム・協働プログラムが拡充され、正課(教育課程)・正課外(教育課程外)を問わず日常的に海外の学生・スタッフ等と協働する場が提供されている。 ● 地球市民として世界の人々と様々なもの(テクノロジーや自然等)と関わり合い、自然界のあらゆる生命体を視野に入れた価値創造のための教育が提供されている。 	<p>生涯学習の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一生涯において教育と居場所を提供し、働き方の多様化によるキャリア形成の変化にも対応した教育が拡充されている。 	<p>組織的な知の集積と発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学院内外の研究者との共同研究が促進され、組織的に知の集積と発信を促す取組がなされている。 ● 複数分野で青山学院大学の高い研究力が広く社会に認知されている。
エンゲージメント	<p>開かれた学びと新たな価値の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校を取り巻く多様な人々と諸機関と創造的に関わり合い、社会課題の解決や社会に対する新しい価値創造の実績が積み重ねられている。 	<p>開かれた研究拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多様な研究者を受け入れ、積極的に研究ネットワークのイニシアティブをとり、研究の創発(「創造と想像」の発信)の場となっている。 	<p>Goal1</p> <p>「未来共創センター」を新設し、学院一貫教育の課題等について対話から共創を生み出します。</p>	<p>Goal2</p> <p>「海外体験・国際交流」を推進し、地球市民を育てます。</p>	<p>Goal2,3</p> <p>「生涯教育プログラム」の拡充により、いつでも開かれた学びの場を提供します。</p>	<p>Goal3</p> <p>「ソーシャル・エンゲージメント」を通じて、社会課題の解決や社会に対する新しい価値創造の実績が積み重ねられている。</p>

「30年後のありたい姿・あるべき姿」を実現する 3Goals & 3Bases

超長期ビジョン (30年後) 「AOYAMA MIRAI VISION」

<p>Goal1 < 学院一貫教育 ></p> <p>価値共有による一貫教育が提供される</p> <p>Targets</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 理念と目指す人物像を一貫する ② 目指す人物像を育成するために必要な要素を共有する ③ 系属校と青山学院の理念と目指す人物像を共有し、4つの教育要素の共通理解と実践への参画、協働を可能にする 	
<p>Goal2 < 教育・研究システム ></p> <p>すべての教育段階で価値創造のための教育が広く提供され、多くの研究成果が組織的に生み出される</p> <p>Targets</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多様な層に教育を広げる ② 想像と創造のための教育プログラムを拡充・新設する ③ 地球市民として共生社会に関わる教育を提供する ④ 一生涯学べる教育プログラムを提供する ⑤ 組織的に高度な研究成果を生み出す 	
<p>Goal3 < ソーシャル・エンゲージメント ></p> <p>すべての人と社会のための『学びと研究の拠点』になる</p> <p>Targets</p> <ol style="list-style-type: none"> ① “いつでも”開かれた「学びの拠点」を創る ② “誰にでも”開かれた「学びの拠点」を創る ③ 新しい価値創造に向けた「研究の拠点」を創る 	

「AOYAMA MIRAI VISION」を実現するため、学院一貫教育、教育・研究システム、ソーシャル・エンゲージメントを柱とした3Goals、それらを支えるため、環境基盤、組織基盤、財政基盤を柱とした3Basesを策定し、これからの10年間の目標である「AOYAMA VISION 160」を実行していきます。

環境基盤	<ul style="list-style-type: none"> ● 青山学院が今後も社会から求められる学校であるための、多様な在校生の受け入れや適正な学校規模に関する方向性の検討・決定と周知 ● 教育研究環境の整備に資するキャンパス再開発計画 ● 教育研究環境の整備を見据えた青山キャンパス老朽化建物の建替え計画 ● 青山学院相模原キャンパス・校外施設等の課題整理・方針策定・実施 	<p>Base1</p> <p>「青山キャンパス再開発計画」により、学ぶ人のための環境を整えます。</p>
組織基盤	<ul style="list-style-type: none"> ● 教学・経営間の適切な意思決定・ガバナンス体制の確立 ● 各設置学校における教職協働体制の構築を担える職員の人材配置及び育成 ● 今後10年間で人事部が取組むサーバント・リーダー輩出に資する人事政策の実行 	<p>Goal2</p> <p>「アントレプレナーシップ人材」を育成し、「青学発スタートアップ」を支援します。</p>
財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ● 財政基盤確立のための数値目標の設定及び目標達成のための方策の検討・実行 ● 学院財政における10年収支試算書の作成・更新 ● 在学生等への経済的支援充実に向けた原資の再構築 ● 万代基金拡大を目的とした資金運用の推進 	<p>Base3</p> <p>「万代基金1000億円」の実現によりすべての奨学生に給付型奨学金を支給します。</p>

Goal2

「ダブルディグリープログラム等の学位取得型留学」を拡充し、留学制度の充実を図ります。

<p>Base1 < 環境基盤 ></p> <p>3Goalsを実現するための教育研究環境を整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本における少子高齢化と世界の人口増加を鑑み、多様な人々を受け入れる適正な規模(在籍者数)の学校を目指す ② バーチャル空間での教育を視野に入れ、適切なキャンパス配置、学外施設の整備を行う ③ 社会連携のための社会に開かれたキャンパスを構築する ④ 正課(教育課程)・正課外(教育課程外)の両面で日常的に海外学生と協働する環境を整備する ⑤ 環境へ配慮したエコキャンパス、誰もが利用しやすいバリアフリーな施設を整備する
<p>Base2 < 組織基盤 ></p> <p>3Goalsを実現するための組織機構の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教学・経営間の適切な意思決定・ガバナンス体制を確立する ② 各設置学校で教職協働体制を確立する ③ 働き手の多様性を活かす組織体制を確立する ④ 学外のリソースを有効に活用する体制を確立する
<p>Base3 < 財政基盤 ></p> <p>3Goalsを実現するための財政基盤の確立</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 青山学院を目指す意欲ある学生や生徒が、経済的理由で進学を諦めることがないよう、支援体制を確立する ② 意欲ある在籍学生や生徒の経済的支援体制を確立する ③ 世界に並び立つ教育研究を支える体制を確立する ④ 超長期的視点に立った重点投資を行い、教育の質向上と経営の発展の好循環を目指して、安定的な財政基盤を維持する

